



ベゴニア

～子どもたちの「わかった」「できた」
「楽しかった」の笑顔あふれる補習校～



学年遠足、無事終了しました

2022年(令和4年度)9月3日

文責 校長 佐藤 博

ある休み時間、3年生の児童に『校長先生、何で補習校って遊ぶ時間がこんなに短いんですか』と聞かれたことがあります。そうですね。現地校ではもっといっぱい遊ぶ時間もあるし、子どもたちって遊びながら学んでいくこともたくさんあるんですよね。だからといって「日本語を学ぶ」ことが本来の目的でここに来ている子どもたちに、短い土曜日の午前中の中でそれほど多くの休み時間をとるわけにはいきません。そのような意味からも今回の学年遠足は、今までとは違う友情関係を築くことができる貴重な1日になったことでしょう。

前日までは本当に天気が心配でした。一番恐れていた「雷マーク」が出ることもあり、さらに前日の夜には結構な雨音も聞こえてきて一時はあきらめかけていたのですが、当日の朝には天気も回復して予定通り実施することができ本当によかったです。きっとみなさんの願いが神様に伝わったのでしょうか。大きなトラブルもなく無事に全員元気に帰ってきました。写真を入れながら簡単にその様子をお伝えします。

小学部1～3年、ケッセルロー公園

今回の見学地の中で最も天候の影響を受けやすかったケッセルロー公園、各担任も体育館でのレクリエーションを考えるなど準備をしておいたのですが、使う必要もなくほっとしています。今回は日本人学校全日制の佐野校長先生と養護教諭の矢野先生が引率の手伝いをしてくださったおかげで、安心して遠足を楽しむことができました。

ケッセルロー公園ではロープや木をつかったアトラクションがたくさんあって、子どもたちも楽しそうに遊んでいました。2・3年はボートにも乗ることができて、大満足。昼ご飯の時間には、愛情たっぷりのお弁当を、美味しそうに食べていたようです。普段はなかなか遊べないお友達とも、たくさん一緒に遊ぶことができ、貴重な1日となりました。また、お手伝いにきてくださった保護者の皆さま、本当にありがとうございました。



小学部4～6年、アドベンチャーパーク



小学部高学年の今回の見学地、実は以前から予定していた場所が急遽工事になってしまい、夏休み終了間際にアドベンチャーパークに変更し、計画をし直した上で下見を行うという大変あわただしい中での学年遠足となりました。

ただこの公園はたくさんのアトラクションがあり、子どもたちは普段できないような体験がたくさんできて大満足だったようです。全てのアトラクションに危険がないように命綱をつけて、きちんと指導を受けた後に挑戦しました。高い木の上まで登ったり、木と木の間には張られたロープを渡ったり、スライダーに挑戦したりと子どもたちの冒険心をくすぐるようなアトラクションがたくさんあったようです。ただあまりにも怖くて、中には途中で泣き出してしまおう子もいたとか・・・このような体験を通して、子どもってまた一回り大きくなっていくのでしょうね。

昼ご飯は各学年ごとに食べていました。愛情たっぷりのお弁当で、子どもたちもとても嬉しそうに食べていたようです。保護者の皆様、朝早くからありがとうございました。

中学部、コンセプトゥショクラ

昨年度のうちにプレゼンを行い、自分たちで今回の見学地について決定をしたという中学部。さすがに自分たちで決めただけあって、みんなとても楽しそうに参加していました。

特にチョコレート作りでは、それぞれの個性が出ていてとても面白かったです。私はある女子グループに入れてもらったのですが、チョコの上に置くナッツや果物等も、彩（いろどり）などにこだわって作る子が多い反面、男子は豪快に「質より量」的な感じがしてとても面白かったです。

そのあとは近くの公園で昼ご飯です。子どもたちは食事よりも一緒に遊ぶ方が楽しいようで、ご飯はあっという間に終わらせ、サッカーやバレー、野球を楽しんでいました。私も今まで、こうやって中学生の皆さんと一緒に話す機会もなかなかとれなかったので、とても貴重な時間を過ごすことができました。



次週は授業参観です

すでに各学級から通信等で連絡はしておりますが、9月10日は小5～中学部、17日は小1～4年までの授業参観となっています。4校時目の授業ですので、どちらも11:55～12:40、終了後には各学級での懇談会も予定しております。お忙しい中ではございますが、ぜひ参加のほど、よろしくお願いいたします。